

令和4年度OB総会

平素はOB会の活動に様々なご協力、ご支援をいただき、感謝申し上げます。2022年度のOB総会は、4月29日(金)、大阪凌霜クラブにて開催され、議案全て承認されました。OB総会での配布資料及び議事録は、5月12日、事務局から各学年幹事へメール配信されています。各学年幹事からOB会員の皆様に届いていると思いますので、本誌では誌面の都合上、概要を記載いたします。

議案1：2021年度活動報告及び2022年度活動方針

2021年度は、コーチングスタッフの充実、OBによる練習見学、試合観戦を通じて、現役との接触機会を増やしOBと現役の一体感醸成に努めました。その結果、大阪市大との人替戦では、東京から来阪した若手を含め、50名近いOBが観戦に集結する等例年にはない応援がみられ、現役活躍→OB会活性化の好循環が生まれてきています。東京支部については、定例支部会は開催されませんでした。昨年12月14日に幹部が集まりOB会活動状況をシェアし、中堅、若手OBの年会費納入増と活性化に向けて打合せを実施しました。

2022年度も引き続き、現役とのコミュニケーションを密にして物心両面の支援を強化していきます。またホームページ充実等により、OB会員の現役情報発信を強化し、年会費納入率アップによる増収→現役支援強化に取り組んでいきます。創部100周年記念事業は、年内に目途をつけます。

議案2：2021年度決算報告

年会費収入は、ほぼ予算通りでした。支出は、旧神戸商船大ラグビー部復刻ジャージ作成、事務局費用増、現役支援増加等があったものの、全体ではコロナの影響による活動制約もあり支出合計で予算比マイナスとなったことから、次期繰越金は前年度から若干増えて2,051千円となりました。

〈収入の部〉(2021.4.1～2022.3.31) (単位：円)

項目	実績	予算	備考
1. 前年度繰越	1,761,607	1,761,607	内、現金1,721,647円
2. 会費	3,136,000	3,000,000	寄付含む
3. 理事会等参加者会費	0	0	
4. 雑収入	1,908	20,000	ネクタイ・エンブレム販売益・利息
5. 芝生化関連予算繰入	0	0	
6. 会費前受け金	92,000	0	6名分
収入計	4,991,515	4,781,607	

〈支出の部〉(2021.4.1～2022.3.31) (単位：円)

項目	実績	予算	備考
1. 現役補助	936,530	900,000	
2. 現役ユニフォーム購入	247,500	180,000	旧商船大ユニフォーム25枚
3. 三商大戦+東京海洋大戦+定期戦補助	0	50,000	
4. 総会運営費	0	40,000	
5. 監督活動費補助	60,100	200,000	交通費等
6. コーチ交通費・謝礼	380,230	500,000	月4万円ほか
7. 新入部員獲得費補助	220,446	300,000	
8. クラブ運営費	440,153	250,000	事務局費用・打合せ費他

9. 会報作成費	188,044	150,000	凌霜ラグー通信印刷・郵送費等
10. 自動振込手数料等	52,063	45,000	振込・引落費用
11. OBチーム活動費	0	0	
12. 東京支部運営費	100,000	100,000	総会費等
13. 創部100周年記念事業準備費	0	100,000	
14. 予備費	56,765	10,000	慶弔費・協会費
15. 芝生化関連経費	0	0	
16. OB理事活動費	57,886	200,000	打合せ費他
17. 定期戦等補助前渡金	200,000	0	三商大戦+東京海洋大戦+定期戦補助
18. 次期繰越	2,051,798	1,666,607	下記資産残高参照
支出・次期繰越計	4,991,515	4,781,607	

〈資産残高(次期繰越内訳)〉(2022.3.31現在) (単位：円)

項目	2022.3.31	期首	備考
三菱UFJ銀行	1,342,665	1,266,131	
三井住友銀行	248,801	304,664	
ゆうちょ銀行	279,976	147,976	
現金	2,876	2,876	
ネクタイ	3,240	21,060	2本←13本
エンブレム	174,240	18,900	44個←5個
定期戦等補助前渡金	200,000	0	
本会計資産合計	2,251,798	1,761,607	

会計理事：山形 輝雄 (S52卒)

神戸大学ラグビー部OB会の会計関係につき監査致しましたところ、正確に処理されており収支決算および資産残高適正で相違ないことを認めます。

2022年4月22日 監事：森内 敏晴 (S56卒)

副監事：植木 心一 (S63卒)

議案3：2022年度予算案

年会費収入は増収活動を継続し増加を見込みます。1月より今年度現役幹部の要望をヒアリングし、新入部員勧誘費、現役補助を増額する方向(夏合宿も実施の方向)です。創部100周年記念事業を増額します。

〈収入の部〉(2022.4.1～2023.3.31) (単位：円)

項目	予算	対前年度実績	備考
前年度繰越	2,051,798	290,191	
会費	3,200,000	64,000	会費増収活動による増額を織り込む
理事会など参加者会費	0	0	
雑収入	20,000	18,092	
芝生化関連予算繰り入れ	0	0	
単年度収入	3,220,000	-9,908	
合計	5,271,798	280,283	

〈支出の部〉(2022.4.1～2023.3.31) (単位：円)

項目	予算	対前年度実績	備考 (*は現役からの要望)
現役補助	900,000	-36,530	*ビデオ購入(100千円)を含む
現役ユニフォーム購入	0	-247,500	今年度は不要

三商大など 定期戦補助 総会運営費 監督活動費補助 コーチ交通費、謝礼 新入部員獲得費補助 クラブ運営費 会報作成費 自動振り込み手数料など OBチーム活動費 東京支部運営費 創部100周年記念事業準備費 予備費 芝生化関連経費 OB理事活動費 定期戦など補助前渡金 単年度支出 翌年度繰り越し 合計	0 40,000 100,000 500,000 400,000 100,000 80,000 50,000 0 100,000 300,000 500,000 0 100,000 0 3,170,000 2,101,798 5,271,798	0 40,000 39,900 119,770 179,554 -340,153 -108,044 -2,063 0 0 300,000 443,235 0 42,114 -200,000 230,283 50,000 280,283	21年度前渡金を充当 開催前提(会場費など) フルシーズン活動前提 ク *リーグワン観戦(150千円)を含む 凌霜クラブ契約解除(-132千円) HP活用による印刷費、郵送料半減 例年並み 設計費、記念品試作費、会議費など加算 *花園G使用料、製氷機購入などに対応 4回生慰労会(23年3月予定) ネクタイ100本製作予定(200千円)
--	---	--	---

深江グラウンド芝生化委員会収支報告(2021.4.1~2022.3.31)

〈収入の部〉 (単位:円)

項目	本会計より	寄付金	合計	備考
1. 前期繰越	65,266	50,035		
2. 寄付金収入		100,000		6/15 S43定兼様
3. 寄付金収入		100,000		3/30 S43定兼様
収入合計	65,266	250,035	315,301	

〈支出の部〉 (単位:円)

項目	委員会経費	寄付金	合計	備考
1. 神戸大学基金へ(2/10)		150,000		2021.1.1~2021.12.31入金分
支出合計	0	150,000	150,000	

〈残高〉 (単位:円)

項目	本会計より	寄付金	合計
残高	65,266	100,035	165,301

芝生委員会の大学基金は4月末現在で7,073千円です。一昨年度の吉川前会長からの寄付が大きく寄与しています。コロナ禍でクラブチームからのグラウンド使用収入が入らないため、阪神園芸宛て維持管理費用(アドバイザー費用、施肥等の作業費用40万~50万円/年)が捻出できずマイナス収支を余儀なくされていますが、何とか必要な支出については対応している状況です。水道代は大学が負担しています。深江グラウンド芝生維持管理については、明慶氏(S53卒)中心に芝刈り作業等を実施、また、阪神園芸が3か月毎に状態をチェックし、施肥・除草剤散布を行っており、生育は順調です。

理事及び会計監事(敬称略)

会長	田中 計久 (S53卒)	芝生化推進委員長
副会長	池内 宏 (S55卒)	東京支部長
副会長	坂下 清信 (S57卒)	創部100周年記念事業委員長
理事	安中 一雄 (S32卒)	
理事	国澤 健一 (S40卒)	
理事	田畑 芳彦 (S43卒)	
担当理事	河野 雄造 (S52卒)	東京支部・芝生化推進委員
担当理事	山形 輝雄 (S52卒)	会計・財務
担当理事	山入端邦男 (S53卒)	広報・コミュニケーション
担当理事	磯江 憲夫 (S53卒)	現役チームGM
担当理事	酒井 亮一 (S54卒)	旧神戸商船大OB窓口
担当理事	小松 規秀 (S54卒)	現役チーム強化支援
担当理事	板垣 毅 (S55卒)	事務局長
担当理事	辻野 智己 (S56卒)	東京支部長補佐
担当理事	有明 志郎 (S57卒)	現役チーム後援会、三商大等他大学連携
担当理事	中本 和夫 (S57卒)	現役チーム強化支援
理事	天知 吾郎 (S57卒)	
担当理事	仁張 正之 (S58卒)	創部100周年記念事業担当
担当理事	向井 孝博 (S58卒)	創部100周年記念事業担当
担当理事	遠藤 勉 (S60卒)	凌霜ラグー通信発行
担当理事	鬼丸 省一 (S62卒)	東京支部事務局長
担当理事	森岡 礼次 (H1卒)	現役チーム監督
理事	堀口 祐司 (H3卒)	
理事	堀 祐介 (H7卒)	
理事	赤澤 栄信 (H11卒)	
理事	田口慎太郎 (H17卒)	
会計監事	森内 敏晴 (S56卒)	
副会計監事	植木 心一 (S63卒)	

*千歳理事(S37卒)はご逝去の為、退任

顧問(敬称略)

太田 奎吾 (S27卒)	子安 武 (S29卒)
定兼 廣行(商船大)	瀧川 好夫(前部長)

*山口顧問(S36卒)はご逝去の為、退任

ラグビー部部長(敬称略)

神戸大学発達科学部教授	平山洋介 (S56卒)
-------------	-------------

学年幹事(敬称略)

S27卒	太田 奎吾	H2卒	吉田 圭吾
S29卒	子安 武	H3卒	堀口 祐司
S30卒	名取 幸男	H4卒	諏訪 正樹
S32卒	安中 一雄	H5卒	三宅 靖
S34卒	野村 康治	H6卒	湯地 努
S35卒	多々見道雄	H7卒	堀 祐介

S37卒	未定	H8卒	辻 一典
S38卒	竹添 修一	H9卒	船越弘一郎
S39卒	松下 忠男	H10卒	光村 孝仁
S40卒	国澤 健一	H11卒	赤澤 栄信
S41卒	松村 泰治	H12卒	豊川 貴也
S42卒	向井 勝	H13卒	見先 俊弘
S43卒	田畑 芳彦	H14卒	古川 武
S44卒	野中 克己	H15卒	梶川 洋平
S45卒	和田 博行	H16卒	金田 芳典
S46卒	鷹尾 昌弘	H17卒	田口慎太郎
S47卒	尾上 二郎	H18卒	高橋 俊亮
S48卒	阪下 喜治	H19卒	桐生 宗明
S49卒	田中 俊明	H20卒	脇田 卓郎
S50卒	森田 幸一	H21卒	河合 祐二
S51卒	松井 健	H22卒	林 知志
S52卒	木村 勇治	H23卒	縄船 恭志
S53卒	磯江 憲夫	H24卒	元嶋 政太
S54卒	小松 規秀	H25卒	薬科 周平
S55卒	杉本 文雄	H26卒	福森伸太郎
S56卒	森内 敏晴	H27卒	森山 和貴
S57卒	天知 吾郎	H28卒	中原 宏介
S58卒	仁張 正之	H29卒	西田 貴洋
S59卒	三森 啓章	H30卒	中谷 駿太
S60卒	森岡 秀文	H31卒	中島 悠輔
S61卒	向井 昌博	R2卒	金田 亘平
S62卒	岡田 功	R3卒	三輪 侑史
S63卒	福本 裕郁	R4卒	山内 智大
H1卒	石井 慎二		

訃報ご通知

謹んでご通知申し上げますと共に心からご冥福をお祈り申し上げます。合掌
山口 秀夫様 (S36卒、元OB会会長) 令和4年1月21日ご逝去

山口さん (S36卒) と私

坂下清信 (S57卒)

あれはもう14年前のことです。大学を卒業してからOB会活動に熱心でなかった私が、ある人の関係で高津高校～神戸大学ラグビー部の大先輩であるという方に、ミナミのラウンジへ呼び出されました。お店へ入るとカウンター一番奥で煙草を燻らす余裕の良い紳士風の方がスコッチ(銘柄はいつもGlenlivet)を飲まれていました。それが山口さんでした。

私のことはその人を介して調べられていたようで、ご挨拶もそこそこに『おまは～ん、大学OB会の会計をやってくれ。ついては会費が滞っているようやから過去3年分、今すぐに払え。』とのお言葉。ビックリするやら何やら、もちろんお断りできる雰囲気はなく。そこから吉川会長のもと、OB会の会計を11年間、務めることとなりました。

始まりはそのようなことでしたが、その後は本当に優しくしていただき、そのお店へもOB会に関係なくよく出入りさせていた

できました。申し訳ない話ですが、一度たりとも支払いをしたことはありません。いつも奥の席でニコニコしながら楽しい時間を一緒に過ごさせていただきました。

私は山口さんが監督されていた時代は存じ上げません。『瞬間湯沸かし器』(故人に失礼!)と怖れられていたという話もお聞きしますが想像が付きません。私にとっては本当に優しいジェントルマンでありました。

最後にお話しできたのはコロナ前だったでしょうか。会食のお約束を頂いていて、お電話で『坂下君、ごめん、駅まで出てきたけれど調子悪いから家へ戻るわ。』と。

山口さん、創部100周年と一緒にお祝いしたかったです。とても残念です。



千歳先輩 (S37卒) 追悼文

磯江憲夫 (S53卒)

千歳和秀先輩は高校時代は柔道選手ながら神戸大学ラグビー部ではセンターとしてご活躍、S37年にご卒業、ユニチカでご勇躍されました。生駒市ご在住の故吉川先輩とご近所で、小職運転の故吉川先輩のお車で、神戸大学の試合に何度も三人で一緒させて頂きました。そのご縁で今回追悼文をとの由でしたが、ご息和芳様から直近のご様子を頂戴しましたので、以下ご紹介させていただきます。

2019年8月に大腸癌が発覚し手術、肝臓に転移ありステージ4、予後が良くない事を知りながら、最期まで絶対にあきらめない姿勢で抗がん剤治療。時を同じくして、妻・郁子の、大脳基底核変性症という前頭葉及び大脳基底核の脳細胞が選択的に死滅する、治療法の確立していない難病罹患が判明。前頭葉の障害から料理や掃除など手順に従った記憶と作業が必要なタスクができなくなった。郁子の病気は徐々に進み、今まで当たり前に来ていた、車の運転や掃除、洗濯、料理等の家事がどんどん出来なくなった。一方、家事や介護の負担が一気に和秀にのしかかるが、不屈のラグーマン精神と持ち前のバイタリティで、自らの闘病と並行して妻・郁子の介護に奔走した。

人生の中で肉体的にも精神的にも非常に辛い局面にも関わらず、遠方(東京・ロンドン)にいる長男、次男家族には絶対弱音をはかず、心配して家を訪問しても、逆に家族を気遣い、もてなし、励ます、ホスピタリティとサービス精神あふれる素晴らしい魂の人間だった。

長年勤めた会社での秘書室長時代に培ったマネジメント能力で、自分の通院・治療と嫁・郁子の介護スケジュールを主治医や介護ケアマネージャーも驚くほど完璧に管理、またそれを完璧にやり遂げる事が自分と郁子の病気の治療につながると信じ、強い信念で闘病と介護を続けた。

つらい闘病中の楽しみはやはりラグビーで、日本開催の2019年ラグビーワールドカップをテレビ観戦で楽しみ、また神戸大学の後輩たちの試合を吉川様や磯江様と見に行った話はいつも嬉しそうに家族に話していた。

癌との闘いも一進一退を繰り返していたが、2021年の2月、ついに抗がん剤が効かなくなり、腫瘍マーカーが上限なく上がり始め、GWごろには医者にはもういつ病状が一気に悪化して亡くなってしまってもおかしくないと言われる迄に。闘病と介護も体力的につらくなり、自分自身も要介護となり出来ぬ事も増えてくる中でも、絶対に家族に助けを求めず、今までと同じく全部自分でやりとげようとする姿勢は最後まで変わらなかった。“こんなもん大学時代のラグビー部の合宿で死ぬほど走った事に比べたら屁でもない”、“死ぬ気でタックルに行ったことを思ったらこんな大した事ないで”というのが口癖でした。体が辛くても病院には入院せず、自宅でいつも通りに暮らし、亡くなる二日前まで全く家族に身の回りの手伝いをさせず、自分で着替えて、這ってでもトイレに行っていた。

人生2回目の東京オリンピックを絶対に見る、自分の83回目の誕生日を家でみんなでお祝いする、という目標を見事に達成した3日後の2021年9月5日、自宅で静かに息を引き取りました。最後までラグーマンらしくネバーギブアップの精神で病魔と戦い、誰にも迷惑かけずかっこよくあの世に行く、という本人の希望を見事に最後までやり遂げて安らかに天に召されたと思います。

合掌。

神戸大ラグビーを輝かせた名手、岡田輝久君(S41卒)を偲ぶ

松下忠男 (S39卒)

岡田君は大阪、四条畷高校ラグビー部の主将として全国大会ベスト4に導いた、まさしく名スタンドオフでした。私、松下が神戸大3年生の時に、彼が工学部土木に入学されたと聞き、早速ラグビー部への入部勧誘をしたところ、「ラグビーはやりません、勉強しなければいけないので」ときっぱり断られました。私が彼のラグビー能力を知らなかったことと、神戸大は勉学を優先すべきと思っていた私はあっさり諦めました。その後、夏合宿が過ぎ、九月の公式のシーズンに入りましたが、ある時、なぜか、彼は我々の公式戦を見学に来ました。その試合は、本来フランカーの私がスタンドオフでしたが、その私の下手なプレーを見て、彼の入部への気持ちに火をつけたと私は勝手に臆測しています。シーズンが終わり、年が明けて、私は4年生になって主将を任せられ、新チームになった最初の春の練習試合に、無謀にも、当時全くの格上の関西学院大学に試合を申し込みました。ところが、当日、関学のグラウンドに集まった神戸大メンバーは13人しかいなく、私は恥かしながら、急遽、関学の主将の宮城君をお願いしてロック二人を借りて試合に臨みました。その時、神戸大のファーストスクラムから出たボールを受けたセンターの岡田君が、見事なステップ、スワープを切って、苦も無く関学のラインを交わし、ファーストトライを奪った見事なプレーは、今も目に焼き付いています。もう一つ、秋のシーズン終盤、お互い無敗で迎えた京都産業大との事実上の優勝決定戦で、岡田君はフルバックを務め、前半、見事なドロップゴールを決めました。後半、松村君のこれも見事なダイビングトライを加えて6対0で勝って、Bリーグ優勝、Aリーグ昇格となりました。今から思えば、岡田君は優勝決定戦でドロップゴールを決めようと思い、ドロップキックの練習をしていた気がします。ドロップキックは僅か3点ですが決められた方は10点ぐらいの屈辱感があります。見事に決めた岡田君のラグビー

センスは抜きでたものがあった証明ですね。当時、徳宮君、深山君と能力のある左右の快速ウィングが居たのですが、岡田君は常に生きたパスをするので、二人が岡田君に右センターをやれ、いや、左センターをやれと取り合いをしていたのが懐かしい思い出です。また、ラグビー以外でもオフに数人での九州旅行に付き合ってもらったりして、本当にいい仲間でした。性格は穏やかで朴とつなタイプですが、とても周りから慕われていたと思います。早世されたのは誠に残念、本当に悔しき限りです。

現役活動状況

選手： 4年生7人、3年生10人、2年生8人、1年生6人
マネージャ：4年生1人、3年生2人、2年生2人、1年生1人

主将の言葉

今年度主将の南竜太郎と申します。今年度はBリーグ中位進出・三商戦優勝という目標を掲げ、コロナウイルスと向き合いながら部員一同練習に励んでおります。これからも、現役部員へのご声援とご支援をよろしくお願い致します。

新入部員リスト

名前	学部	出身校	ポジション	身長 (cm) / 体重 (kg)
京田祐樹	海洋政策	茨木	FL/No.8	170/78
佐野祐基	経済	時習館	HO	167/71
島田颯太	経済	長岡	FL/CTB/WTB	166/62
陶山翔翼	経営	修猷館	WTB	170/67
速水哲太	工	神戸	WTB/FB	171/74
松尾温斗	海洋政策	兵庫	FL	176/67
二川奈々	国際人間科学部	西京	MG	-

コーチ (敬称略)

大石稜：流通経済大学卒、元神戸製鋼ラグビー部選手

春シーズン戦績

■交流戦 VS 大阪教育大学 @鶴見緑地 G

3月26日 神戸大学 5-35 大阪教育大学

前半	1	T	2	後半	0	T	5
	0	G	0		0	G	0
	0	PG	0		0	PG	0
	5	-	10		0	-	25

【戦評】

新シーズンが始まり初めての試合ということもありミスが目立ち、終始押される展開となった。積極的に外へ展開するアタックによりゲインする場面もあり、トライに肉薄する場面もあったが、取り切れることは出来なかった。とても多くの課題が残った試合であった。

■交流戦 VS 大阪国際大学 @四条畷 G

5月8日 神戸大学 19-14 大阪国際大学 (けが人多数のため40分開催)

3	T	2
2	G	2
0	PG	0
19	-	14

【戦評】

相手校のディフェンスの隙間を縫う素晴らしいアタックが随所に見られ得点を重ねることができた。ディフェンスではフィジカルで押される場面もあったが、体を張ったプレーで相手校のアタックを防ぎ切り、僅差で勝利することができた。

■近畿国立大会代替交流試合(各40分のみ)

VS 京都大学、大阪大学 @大阪大学吹田G

5月22日 神戸大学21-0 京都大学

3	T	0
3	G	0
0	PG	0
21	-	0

神戸大学0-36 大阪大学

0	T	6
0	G	3
0	PG	0
0	-	36

【戦評】

京都大学戦では、規律だったディフェンスで無失点に抑えることができた。そしてフォワード、バックスイートとなった相手をほろろするアタックで得点を重ね、見事勝利することができた。

大阪大学戦では、前戦の直後とありスタミナ切れによって相手に走り切られる場面や意思疎通のミスが目立った。

その一方新入部員の活躍も随所に見られ今後に期待が持てる試合でもあった。

■三商戦 VS 大阪公立大学 @大阪公立大学杉本G

6月26日 神戸大学33-19 大阪公立大学

前半	3	T	2	後半	2	T	1
	2	G	2		2	G	0
	0	PG	0		0	PG	0
	19	-	14		14	-	5

【戦評】

三商戦の三年ぶりの開催であり、また三商大戦としては前々回、前回と敗北を喫していた相手であるため、非常に熱い気持ちで試合に臨んだ選手たちであった。しかし今年度から大阪公立大学となり、相手も同様に並々ならぬ気持ちで試合に臨んだのであろうか、苦戦を強いられることとなった。先制点をとられ、流れを持っていかれたが、選手同士で改善点を洗い出し、修正することで試合の流れを取り戻すことができた。またアタックにおいてはグラウンドを広く使った相手を翻弄する攻撃をすることができた。結果試合に勝利することができ、夏に向けて弾みをつけることができた試合であった。

■交流戦 VS 大阪教育大学 @ヤンマーフィールド長居G

7月18日 神戸大学15-30 大阪教育大学

前半0-15(0-3トライ)、後半15-15(3-3トライ)

夏合宿日程

日時:8月19日(金)~21日(日)

場所:菅平高原

宿舎:太郎館 TEL 0268-74-2300

住所:長野県上田市菅平高原1223-6204

現役チームの連絡窓口:岡田主務 電話 090-9259-8035

その他:宿泊先は現役チームで満室となっています。

現地で宿泊される方はご自身で宿を手配願います。

	19日	20日	21日
午前	練習	vs 東京大	vs 東京都立大
午後	vs 神奈川大	練習	vs 甲南大

秋のリーグ戦日程

変更になる場合があります。最新情報は現役ホームページ(<https://www.koberfc-official.com>)でご確認をお願いします。

■1次リーグ(B1リーグ)

B1グループとB2グループに分かれ試合が行われます。神戸大学はB2グループです。

第1節 9/18(日) vs 追手門学院大学 @未定

第2節 9/25(日) vs 大阪教育大学 @未定

第3節 10/9(日) vs 龍谷大学 @未定

第4節 10/16(日) vs 大阪産業大学 @未定

第5節 10/30(日) vs 大阪工業大学 @未定

■2次リーグ(B1、B2リーグ各上位、中位、下位チームでの順位決定リーグ)

1次リーグB1グループ・B2グループの各順位により、対戦大学が決まります。

B1・B2の1位・2位、B1・B2の3位・4位、B1・B2の5位・6位

第1節 11/20(日)

第2節 11/27(日)

■入替戦

AB入替戦 12/11(日)

BC入替戦 12/11(日)

B12位 vs C1位、B11位 vs C2位、B10位 vs C3位、B9位 vs C4

創部100周年記念事業

創部1923年(大正12年)1月から数えて、来年2023年に100周年を迎えます。これは1899年の慶應、1911年の同志社、1918年の早稲田、1920年の大阪市大、1921年の東大、1922年の京大・一橋に続く国内8番目の歴史を誇るものです。

この記念すべき年に以下のような周年事業を計画しています。

- 1 記念式典の開催
- 2 記念品の作成
- 3 更衣とシャワー設備の設置(深江グラウンド)
- 4 ホームページの充実と100周年特別ページの作成

これらの事業を遂行するためにはOB各位のご寄付をお願いしなければなりません。芝生化事業に対してご寄付を頂いたばかりで誠に恐縮ですが、ご理解、ご協力の程よろしく願いいたします。

東京支部だより

S55年卒の池内と申します。2019年に東京支部の副支部長に就任し、私が尊敬していた故星川先輩の後を継いで、2020年の総会において、副会長兼東京支部長に任命され現在に至っています。

東京支部では、辻野副支部長(S56卒)、鬼丸事務局長(S62卒)と一緒に活動を行っています。2020年初めから現在に至るまで新型コロナウイルスの影響を受けて、活動らしい活動は殆どできていませんが、東京支部長に就任以来活動してきた内容を簡単に報告させていただきます。

昨今OBの大半の方が東京で勤務をしておられますので、東京支部として活動をするにあたり、重点目標として掲げた点は、東京支部OB会の活性化とOB会費納入率アップの2点です。

まず東京支部OB会の活性化に関してですが、昭和55年卒以降のOBと平成卒のOBのOB会への参加を働きかけました。その結果、東京支部OB総会と秋季集会への参加人数は以下の通りの推移となっています。

18年5月21名→18年10月14名→19年5月24名→19年11月30名

残念ながら、2020年以降は新型コロナウイルスにより全体会合を持つことができずしていましたが、先日2022年5月18日に大阪から田中会長、坂下副会長、磯江GMにもお越しいただき、約2年半ぶりに東京支部OB総会を開催することができました。このOB総会は昨今の新型コロナウイルスという事情に鑑み、リアル参加とオンライン参加のハイブリッド型の総会の開催としました。その結果、リアルで14名、オンラインで13名、合計27名の方にご参加いただきました。

次にOB会費納入率アップの件ですが、OB会員の皆様方のご協力により、2019年度以降OB会費の納入が増えています。具体的には、芝生化プロジェクトの時期に寄付金と同時にOB会費の納入もお願いしましたが、その結果OB会費は2018年度の2,360千円から2019年度に2,987千円へと約630千円の増収を図ることができました。2021年度には3,136千円のOB会費を納入いただいています。いよいよ来年2023年には創部100周年記念事業が待ち構えています。この創部100周年記念事業を成功に導くと共に、OB会費の一層の納入率アップを目指したいと思っておりますので、OB会員の皆様におかれましては、絶大なご協力の程よろしくお願い申し上げます。

今後の活動予定ですが、新型コロナウイルスの状況次第とはなりますが、令和2年3月卒で東京勤務となった方の歓迎会を実施して以降、歓迎会が実施できていませんので、今年は頃合いを見計らってできるだけ早い機会に令和3年、令和4年卒で東京勤務の方の歓迎会を実施したいと考えています。また、秋には東京支部の皆様で「創部100周年記念事業」に向けて盛り上げていくべく「決起集会」の開催も検討していきたいと考えています。

関東以北にご在住のOBの皆様におかれましては、引き続き東京支部OB会の活性化に向けてご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

ホームページ

OB会のホームページについては、本年4月29日のOB総会でもご紹介したように、OB会員名簿のメンテナンスや過去のデータメンテナンスも終了し、6月から7月には「神戸大学ラグビー

部OB会ホームページ」として開設する予定でした。ところが、現役のホームページとの関連でいろいろと微調整が必要となるなどの諸事情により開設延期となりました。ホームページ立ち上げを期待されていた皆さまにはまことに申し訳ございませんが、今しばらくお待ちいただけるようお願い申し上げます。

現役ホームページ：<https://www.koberfc-official.com>

OB会費納入のお願い

口座振替の時期は、基本的には毎年6月28日となっております。振込で年会費を払っていただけるOBの方々には、できるだけ口座振替にして頂けることをお願いします。口座振替での納入方法を用意していますので、ご希望の方は事務局までご連絡をお願い致します。口座振替用紙を送付させていただきます。今後ともOB会の財務基盤強化に向けて何卒ご協力、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【年会費】

卒業後10年未満 6,000円(マネージャーは3,000円)、卒業後10年以上 12,000円(マネージャーは6,000円)、賛助会員 5,000円。70才以上の卒業年度の方で特段の申し出のなかった皆様からは、ご寄付いただいたものとして引落しさせていただいておりますのでご了承ください。

【振込先：凌霜ラグークラブ】

三井住友銀行 天満橋支店 普通口座 0957978

三菱UFJ銀行 大阪駅前支店 普通口座 0027557

ゆうちょ銀行 口座 00960-4-302152

事務局からのお知らせ

【OB会名簿更新について】

昨年10月から、各学年幹事の方をお願いして名簿内容の更新作業を進めて参りました。お陰様でほとんどの学年から回答を頂き、学年幹事の皆様には改めて御礼申し上げます。残念ながらH23卒及びH25卒の2学年についてはどなたとも連絡が取れない状況です。前後の学年の方で日頃からお付き合いのある方がおられましたら事務局までご連絡いただけると幸いです。

また、今後、名簿を会員間でなんらかの開示を行う上で、掲載内容に制限をかけたい方は事務局までご連絡願います。随時受け付けます。

【連絡方法】

・メール kobe.u.rfc.ob@gmail.com

または itagaki@mikunikinzoku.jp

・電話 080-9543-0441(板垣大阪事務局長の携帯電話)

・郵便 〒662-0051 西宮市羽衣町7-32-509(板垣毅)

【凌霜ラグー通信の郵送について】

来年2月発行予定の凌霜ラグー通信90号から、郵送は希望者のみとなります。郵送を希望される方は送付先住所を下記に連絡してください。なお、凌霜ラグー通信はOB会ホームページで閲覧できるようになります。

・メール ryoso.rugger@gmail.com

・郵便 〒666-0115 川西市向陽台3-5-92(遠藤勉)